

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2013年度 第1号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp

中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp



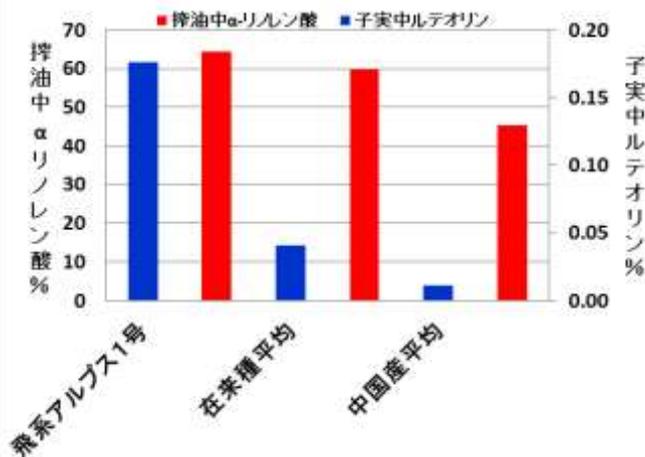
ホームページのアドレスが変わりました → <http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

今年度も現場における問題解決型の研究課題である地域密着課題に加えて、先取り型の研究課題である重点研究課題やプロジェクト研究課題に鋭意取り組み、全職員一丸となって地域や産地の期待に応えられる研究機関を目指してゆきます。

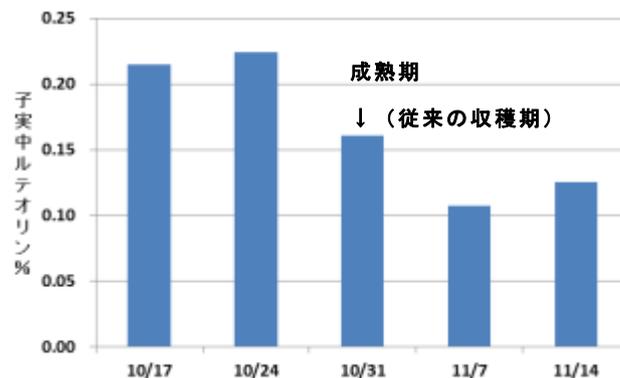
本号では当研究所で取り組んでいる品目から、エゴマと花きに関わる課題についてご紹介します。花きについては、キクやトルコギキョウなどの切り花は本所で、またシクラメンやリカステなどの鉢花は中津川支所でそれぞれ取り組んでいます。

エゴマの機能性を高める栽培法

飛騨地域では古くから、エゴマ（あぶらえ）の子実を食材として利用していますが、エゴマの子実に「ルテオリン」という体に良い成分が豊富に含まれることはあまり知られていません。当研究所では、飛騨全域の在来種約70種類の中からルテオリンを多く含む系統を選抜し、新品種「飛系アルプス1号」として品種登録を行うとともに、ルテオリン含量を高める栽培法を検討しました。その結果、成熟期より7～14日程度早く収穫することで、子実中のルテオリン含量が高まることわかりました。



「飛系アルプス1号」の機能性成分



収穫期の違いと子実中のルテオリン含量

● 黄色輪ギク「飛驒黄金」の露地直挿し栽培

「飛驒黄金」の露地栽培において、挿し穂を本圃に直接挿し芽をする「直挿し栽培」について検討しました。その結果、8月の盆需要期出荷のためには、4月13日より早く直挿しをする必要があり、直挿し後に被覆するポリフィルムは有孔でも無孔でも生育に差がないことがわかりました。この直挿し栽培により、露地栽培においても通常行われているセル苗の育苗作業を省略でき、栽培の省力化が図れます。



直挿しから2週間後の発根の様子

直挿し日の違いが収穫日に及ぼす影響

処理区	直挿し日 (月.日)	収穫日 (月.日±日)
直挿し区	4.13	8.09 ± 2.7 ^Y
	4.20	8.12 ± 3.3
	4.27	8.15 ± 2.7
慣行区	4.22 ^Z	8.07 ± 1.8

^Z慣行区はセル苗の定植日 ^Y標準偏差(n=10)

● 地域資源を活用したリカステ栽培

南米原産の美しいらん「リカステ」は愛好家の間で人気が高く、日本での育種が進み多くの魅力的な品種があります。中津川支所では、地域の生産者とともに、中山間地の夏季冷涼な気候を活かした小鉢でカジュアルな鉢花の商品化に向けた栽培試験に取り組んでおり、地元の製材所から廃材として出る杉皮（右図）を活用し、施肥量により十分な花立ちが得られることを実証しました。



杉皮培地に花きロング肥料 2 g / 鉢を施用した株の開花状況

人事異動 (平成25年4月1日付)

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
秋月正幸	本所管理調整係長	吉城高等学校	池田善了	退職	本所管理調整係長
熊澤良介	支所主任専門研究員	農業大学校	広瀬貴士	農産物流通課	支所主任研究員
山田隆史	本所専門研究員	農業技術センター	久田浩志	農業経営課	本所主任専門研究員